

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個人の記録はSOAP方式で経過記録になっている。職員間での情報共有としての記録にはなっていない	センター方式を理解し取り入れ介護計画に取り入れ職員間で情報共有していく	センター方式の勉強会・それに基づく実践結果及び気づきを統一した形で情報共有できる方法を話し合っていく	12ヶ月
2	2	地域の方々とは顔なじみになり交流はあるが、施設からの発信力地域に向けての貢献度が少ない	地域の人々が気軽に相談でき立ち寄れる施設になれるようにする	毎月地域住民が集まる会合で認知症予防や認知症についての様々な情報を発信していく(笑いヨガなど)	12ヶ月
3	33	施設で看取りをした例はない。施設が環境整備及び医師との連携を取り組みスタッフの体制及び力量なども考えて、今後どのようにしていくのかを考える必要がある	住居環境及び医療機器の整備を整え看取りが行えるようスタッフにも勉強会を行っていく	看取りに関してのスタッフの不安疑問についてのアンケートをとる・具体的に不安な点についての勉強会の実施・医師との連携が取れるよう働きかける	12ヶ月
4	45	本人の希望に合わせているが夜に入浴することは少なく再度見直す必要がある	本人にとって一番希望する入浴の時間帯を知り入浴をしてもらう	利用者一人一人の希望、生活の流れの中で本人にとって一番入浴を楽しめる時間帯を知る、足浴を取り入れていく	3ヶ月
5	53	施設の共有スペースがない為利用者が一つの場所に集まってしまう傾向がある	利用者が過ごしたいと思える場所で過ごせる	和室にこたつを取り入れ部屋、リビング、こたつと利用者が過ごしやすい場所を提供する	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。